

青果物の流通費用に関する調査研究 VI

松 田 延 一

A Survey of Research Studies concerning the Cost of Distribution and Sale of Vegetables and Fruits VI

by

Nobukazu MATSUDA

は し が き

筆者は昭和45年以来、名古屋市中央卸売市場の本場へ出廻った青果物の流通費用について、調査を行なってきたが、本稿は昭和47年10～11月に廻ったものについての、調査結果の概要である。この年度の調査目的は、第V報¹⁾にも述べたように、(1)これまでの調査結果の補完、追認と、(2)卸売価格の変動に伴ない、流通費用、生産者取得はどのような影響を受けるか、(3)市内の小売店の性格別にみた小売価格の差異および、(4)市内の地域別にみた小売価格の様相を明らかにするにある。そしてとくに、本稿は前報第V報の補完を目的とする。

調 査 方 法

調査品目は前年の同期と同様に、野菜ではだいこん、はくさい、キャベツ、にんじん(3寸)、さつまいもの5種、果物はみかん(温州)、りんご(スターキング)、かき(富有)の3種類とした。(前年に調査した、なし(二十世紀)、ぶどう(デラウェア)は本年は調査時には入荷少量のために調査を省いた)

調査時期は昭和47年10月16日から10月31日にいたる期間で、中央卸売市場における出荷者の調査は10月16、23、30日の3日、小売価格は10月23、24、30、31の4日実施した。

産地から市場までの費用その他はアンケート調査によった。その発信数および回答状況は表1に示す通りである。(表1参照)

表1 出荷者に対するアンケート発信数および回答数 (47年秋)

品 目	発信数	回答数	出 荷 県 名
だ い こ ん	35	12	愛知8 岐阜2 長野1 新潟1
は く さ い	28	12	長野11 岐阜1
キャベツ	30	14	愛知6 長野6 岐阜1 三重1
に ん じ ん	23	13	愛知7 岐阜1 静岡1 長野1 北海道2 茨城1
さ つ ま い も	10	5	愛知4 城茨1
み か ん	39	18	愛知5 静岡3 三重2 愛媛2 和歌山2 岐阜1 高知1 徳島1 熊本1
り ん ご	23	9	福島5 青森4
か き	20	8	岐阜4 奈良2 愛知1 三重1
合 計	208	91	

有効回答率 43.8%

次に小売店の性格別調査対象とその分布を示すと、表2の如くである。(表2参照)

表2 小売店の性格別調査対象数 (47年秋)

区名	公設	私設	スーパーマーケット	スーパーストア	八百屋	果物専門店	デパート	計
中川		4			3			7
守山		2	1	1	2			6
西北						6	1	7
千種		1		2	1	1	3	7
瑞穂		8	2	1	2	1		4
昭和三		2	1		3	1		7
港	1	2		1	1	1		6
緑		2	5		5	1		13
東			2		2	3		7
熱田		1			1	4		6
中村					6	3	2	11
南		6		1	4	1		12
中					8	2	2	12
計	1	28	11	6	48	22	4	120

これらの小売店を調査員が巡回し、正札によって、中等品の価格を調査した。なおその他の調査上の約束はこれまでと同様である。(第I報の調査方法の項参照)²⁾

調査結果の概要

A 卸売価格を中心とする調査

まず卸売価格の成立までに必要とした流通費用、生産者取得額を産地別に比較するために、生産物1kg当りに換算したものを示せば表3の如くである。(表3参照)

表3 1kg当りの卸売価格、流通費用、生産者取得金額(産地別種類) (47年秋)

品目	産地			卸売価格	流通費用		生産者取得	荷造単位置量	販売体制
					合計	うち固定的			
だいこん	愛知	刈谷市	東境	13.33	2.40	1.33	10.93	15kgポリ	個人
	〃	〃	神田	38.93	6.26	3.15	32.68	6kgポリ	協同
	〃	豊田市	手呂(A)	13.33	3.40	2.33	9.93	15kgビニール	個人
	〃	〃	〃(B)	25.00	7.00	5.00	18.00	4kg	〃
	〃	〃	御船	32.00	8.81	6.25	23.19	〃	〃
	〃	〃	見津	10.00	5.13	4.33	4.88	15kg	〃
	〃	〃	乙部	16.66	7.92	6.50	8.75	12kgポリ	〃
	岐阜	岐阜市	端詰	16.25	7.79	6.58	8.29	4kg	協同
	〃	郡上	高鷲	44.00	11.80	8.00	32.26	5kgテープ	〃
	長野	小諸市		30.00	17.87	15.29	12.16	5kgネット	〃
新潟	西蒲原	巻	16.66	7.92	6.50	8.75	10本	〃	

品目	産地			卸売価格	流通費用		生産者 取得	荷造 単位量	販売体制
					合計	うち 固定的			
はくさい	岐阜	高山市	花里	18.90	14.43	12.82	4.01	15kgダン	協同
	長野	東筑摩	麻績	33.33	19.50	16.67	14.40	〃	〃
	〃	木曾	木祖	16.67	11.82	10.40	4.85	〃	〃
	〃	塩尻市	北小野	23.33	14.87	12.87	8.47	〃	〃
	〃	〃	洗馬	20.00	14.79	13.09	5.21	〃	〃
	〃	北佐久	御代田(A)	20.00	13.99	12.29	6.01	〃	〃
	〃	〃	〃(B)	22.33	16.94	14.96	6.39	〃	〃
	〃	南佐久	南牧	20.00	14.91	12.56	5.09	〃	〃
	〃	更科	大岡	23.33	14.02	12.04	9.31	〃	〃
	〃	小県	東部	21.17	14.25	12.45	6.92	〃	〃
〃	小諸市	大里	20.00	13.69	11.99	6.31	〃	〃	
〃	〃	柏木	13.33	16.37	15.24	-3.04	〃	〃	
キャベツ	愛知	名古屋市	緑大高	23.33	4.73	2.86	18.60	15kgネット	協同
	〃	一宮市	千秋	26.67	8.46	6.33	18.20	〃	〃
	〃	稲沢市	高御堂	30.00	7.33	4.93	22.67	〃	〃
	〃	大府市	吉田(A)	30.00	5.07	2.67	24.93	〃	個人
	〃	〃	〃(B)	30.00	9.40	7.00	20.60	〃	〃
	〃	豊橋市	向草間	40.00	14.52	11.32	25.84	〃	協同
	三重	亀山市	江ヶ室	26.13	6.74	4.52	19.39	〃	〃
	岐阜	大野	荘川	23.33	18.11	16.13	5.22	15kgダン	〃
	長野	塩尻市	洗馬	13.33	14.07	12.94	-7.40	〃	〃
	〃	諏訪	富士見	10.00	11.43	10.58	1.43	〃	〃
	〃	〃	原	26.67	20.67	18.40	6.00	〃	〃
	〃	小県	東部	16.67	13.65	12.23	3.03	〃	〃
〃	小諸市	北大井	13.33	15.97	14.84	-2.64	〃	〃	
〃	北佐久	望月	13.33	13.97	12.84	-0.64	〃	〃	
にんじん	愛知	海部	甚目寺	50.00	13.80	9.80	36.20	5kgダン	協同
	〃	一宮市	西尾張	40.00	9.00	5.80	31.00	10kgダン	〃
	〃	大府市	中ラ畑	50.00	11.20	7.20	38.80	〃	〃
	岐阜	各務原市	鶉沼	50.00	12.45	8.20	37.55	〃	〃
	静岡	浜名郡		50.00	16.95	12.70	33.15	〃	〃
	長野	東筑摩	朝日	89.20	30.20	22.60	59.00	〃	〃
	北海道	北見市	高栄	32.50	23.41	20.65	9.09	20kg入	個人
	〃	富良野市	東山	32.50	27.39	24.63	5.11	〃	協同
さつまいも	愛知	名古屋市	緑大高	20.00	6.60	5.00	13.40	10kgダン	協同
	〃	江南市	古知野	30.00	8.06	5.66	21.94	〃	〃
	〃	稲沢市	高御堂	75.00	11.40	5.40	63.60	〃	〃
	〃	一宮市		50.00	9.90	5.90	40.10	〃	〃
	茨城	水戸市	河和田	60.00	19.25	14.15	40.75	〃	個人

品目	産地			卸売価格	流通費用		生産者 取得	荷造 単位量	販売体制
					合計	うち 固定的			
みかん	愛知	知多	南知多	100.00	20.33	13.33	79.67	15kgダン	協同
	〃	〃	美浜	46.67	10.01	6.07	36.65	〃	〃
	〃	蒲郡市	宮成	125.07	19.21	10.46	105.85	〃	〃
	〃	額田	幸田	73.33	13.20	8.07	60.13	〃	〃
	〃	豊橋市	南部	90.00	19.93	13.63	70.07	〃	〃
	岐阜	海津	南濃	73.73	17.84	12.68	55.90	〃	〃
	三重	熊野市	井戸	73.33	17.20	12.07	56.13	〃	〃
	〃	南牟婁	御浜	80.00	18.60	13.00	61.40	〃	〃
	静岡	引佐	引佐	82.80	18.63	12.83	64.17	〃	〃
	〃	浜名	湖西	76.67	16.87	11.47	59.80	〃	〃
	〃	藤枝市	青木	84.20	22.00	16.11	62.20	〃	〃
	和歌山	田辺市		66.67	18.53	13.86	48.12	〃	〃
	〃	東牟婁	那智勝浦	66.67	19.67	15.00	47.00	〃	〃
	高知	高知市		61.87	19.98	15.65	41.88	〃	〃
	徳島	阿南市	吉井	63.33	17.90	13.47	45.43	〃	〃
	愛媛	北宇和	吉田	100.13	24.25	17.24	75.90	〃	〃
〃	今治市	片原	103.87	25.81	18.54	78.06	〃	〃	
熊本	天草	河浦	100.00	25.81	18.54	64.33	〃	〃	
りんご	福島	伊達	保原	125.00	32.34	23.59	92.66	16kgダン	協同
	〃	福島市	成川	86.00	35.50	29.48	50.50	〃	〃
	〃	〃	八木田	58.00	27.94	23.88	30.12	〃	〃
	〃	〃	笹木野	125.00	32.81	24.06	92.19	〃	〃
	〃	〃	北福島	125.00	36.62	27.87	88.38	〃	〃
	青森	西津軽	鱒ヶ沢	125.00	38.56	29.81	86.44	〃	〃
	〃	南津軽	尾上	120.56	35.33	26.89	85.22	〃	個人
	〃	〃	浪岡	187.50	62.19	39.06	125.31	〃	協同
〃	北津軽	鶴田	175.00	46.88	34.63	128.13	〃	個人	
かき	愛知	西加茂	三好	186.67	21.07	13.07	165.60	7.5kgダン	個人
	三重	桑名	多度	126.67	21.79	12.92	104.88	15kgダン	協同
	岐阜	岐阜市		130.00	29.55	20.45	100.45	〃	〃
	〃	養老	養老	133.33	21.00	11.67	112.33	〃	〃
	〃	本巣	真正	153.33	35.80	24.87	117.37	〃	〃
	〃	海津	南濃	126.87	26.07	17.14	100.85	〃	〃
	奈良	五条市	徳江	117.33	26.57	18.36	90.76	〃	〃
	〃	吉野	西吉野	121.93	25.66	17.13	96.26	〃	〃

備考 荷造単位量欄のダンとあるはダンボール箱入，ポリはポリエチレン袋入りを示す。

次に卸売価格の構成をみると，表4の如くである。(表4参照)

表4 卸売価格に対する流通費用、生産者取得の割合

(卸売価格=100 (%) 47年秋)

	だい こん	はく さい	キャ ベツ	にん じん	さつま いも	平均	みかん	りんご	かき	平均
1 運賃	11.4	28.9	23.2	12.6	5.9	16.4	5.2	6.9	2.0	4.7
2 包装材料費	5.1	27.5	19.8	11.9	7.9	14.4	5.3	9.8	4.0	6.4
3 包装費	5.2	3.5	6.6	3.9	3.1	4.5	4.2	5.3	4.6	4.7
4 小計(2+3)	10.3	31.0	26.4	15.8	11.1	18.9	9.5	15.1	8.6	11.1
5 検査料	0.4	0.4	0.3	0.0	—	0.2	0.0	—	—	—
6 組合手数料	1.6	3.6	3.4	2.5	0.4	2.3	2.5	2.5	1.5	2.2
7 その他	0.5	1.3	0.4	0.9	—	0.6	0.2	1.7	0.3	0.7
8 小計(1+4+5+6+7)	24.2	65.2	53.7	31.8	17.3	38.4	17.4	26.2	12.4	18.7
9 卸売人手数料	8.2	8.3	8.3	8.3	8.1	8.3	7.0	7.0	7.0	7.0
10 以下計(8+9)	32.4	73.5	62.0	40.1	25.4	46.7	24.4	33.2	19.4	25.7
11 生産者取得	67.6	26.5	38.0	59.9	74.6	53.3	75.6	66.8	80.6	74.3
調査数	12	12	14	8	5	51	18	9	8	35

B 小売価格を中心とする調査

次に小売価格を中心とする調査結果をみよう。

この小売価格は、これまで通り、調査期間における各小売店における平均価格である。そして、これを基礎に各品目の流通過程における廃棄率と出荷単位量とから、小売店における荷造り原単位量当りの正味の売上金額を推計し、これをもって小売商のマージン算出の基礎とした。この小売価格に対応せしめる卸売価格は、調査期間における卸売価格の仲値の平均をもってしたことは前回までの調査と同様である。

さて小売価格の構成をみると、表5の如くである。(表5参照)

表5 流通費用の諸指標

(%) (47年秋)

	だい こん	はく さい	キャ ベツ	にん じん	さつま いも	平均	みかん	りんご	かき	平均
荷造単位量(kg)	5本東 9	15	15	10	10		15	16	15	
1 卸売価格	53.7	63.9	67.6	51.1	61.6	60.3	65.5	75.6	73.0	71.4
2 出荷費用	13.6	41.8	36.3	16.3	10.6	23.7	11.4	19.8	9.0	13.4
3 マージン	卸売人	4.7	5.4	5.6	4.2	5.0	4.6	5.3	5.1	5.0
	仲卸人	5.7	6.4	6.8	5.1	6.2	6.5	7.6	7.3	7.1
	小売商	37.0	29.7	25.6	43.8	32.2	33.7	28.0	16.8	19.7
4 流通費用計(2+3)	61.0	83.3	74.3	69.4	54.0	68.4	50.5	49.5	41.1	47.0
5 生産者取得(6+4)	39.0	16.7	25.7	30.6	46.0	31.6	49.5	50.5	58.9	53.0
6 小売価格	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

次に小売店の性格別に、各青果物の小売価格を比較すると、表6の如くである。これによると、野菜、果物は概して、私設市場・八百屋が安く、次いでスーパーマーケット、公設市場、

果物専門店，スーパーストア，デパートの順に高いことがわかる。これは第Ⅴ報でも述べたように，小売店により，品質の差があることも無視できないが，デパートは一般に高いことは，すでにわれわれの常識になっているが，こうしたことをこの表からも読みとることができると思う。(表6参照)

表6 小売店性格別にみた小売価格の比較 (47年秋)

	公 設	私 設	スーパー マーケット	スーパー ストア	八百屋	専門 店 (果物)	デパート
だ い こ ん	111.6	100.0	96.7	89.1	89.7	—	119.1
は く さ い	122.5	100.0	105.5	108.4	83.4	—	144.3
キ ャ ベ ツ	135.6	100.0	109.5	124.3	138.2	—	122.8
さ つ ま い も	135.8	100.0	100.4	111.5	73.3	—	74.1
に ん じ ん	100.3	100.0	115.3	145.5	121.8	—	193.1
平 均	121.2	100.0	105.5	116.6	101.3	—	130.7
り ん ご	126.3	100.0	101.1	114.5	92.9	119.0	308.0
か き	165.8	100.0	146.0	163.4	128.8	161.8	178.9
み か ん	116.7	100.0	96.1	114.5	88.3	118.8	197.4
な し	—	100.0	111.1	123.0	75.3	101.3	168.3
平 均	136.3	100.0	113.6	141.4	96.3	125.6	213.2

次に名古屋市内の地区別に小売価格の高低を観察しよう。この目的のために，普通の八百屋の小売価格をみることにした。というのは市内の各区にデパート，スーパーマーケット，公設市場などが一様に分布していないからこれらを除き，八百屋の価格のみをみるのが妥当であると考えられるからである。それとともに，各八百屋はその地区の小売店間の競争関係や地区の

表7 八百屋価格の地域別比較 (全市平均=100(%) 47年秋)

区 名	はくさい	だいこん	平 均	すいか	みかん	平 均	野菜果物 平 均
西 港	74	90	82	65	87	76	79
東 中	86	84	85	106	77	92	88
守 山	76	82	79	119	76	98	88
緑 村	92	87	90	—	86	86	88
中 南	91	107	99	106	57	82	90
川 穂	114	86	100	94	74	84	92
瑞 和	83	80	82	111	103	107	94
昭 北	114	92	103	85	87	86	95
熱 田	94	96	95	69	124	97	96
千 種	107	97	102	89	155	121	112
	100	106	103	96	166	131	117
	111	120	116	139	101	120	118
	117	153	136	86	155	121	128
	143	118	131	137	120	129	130

需要事情を反映して、その小売価格を決定するものと判断せられるからである。もちろん、われわれが調査した八百屋の店数は地区によって若干異なり、その地区の代表性を十分もっているとは考えられないが、大凡の傾向を示す事例としてみることにした。この目的のために表7を作成した。この場合夏期に出廻るなす・きゅうり・西瓜（第Ⅴ報の調査品目）と、秋期のだいこん・はくさい・みかん（第Ⅶ報の品目）の6品目とした。

この表は全市の八百屋の小売価格の平均を100とし、それに対する指数で表示した。（表7参照）

これによると野菜・果物の平均では、西区が最も安く、次いで港・東・中・守山・緑・中村・南・中川の順で、瑞穂・昭和・北・熱田・千種は高価な地区となっている。

考 察

以上の結果と、過去3か年（第Ⅰ～第Ⅴ報）の調査の結果とを併せて考察し、主な問題点を述べると、次の如くである。

1) 卸売価格を中心に、出荷費用、生産者取得率をみると、今回の調査結果は、野菜の出荷費用の割合は38.4%でこれまでの最高になっている。これは今回の調査対象が、市場遠隔地からのものが多かったことによるものである。すなわちはくさい12件のうち11件、にんじん8件のうち3件、キャベツ14件のうち6件、さつまいも5件のうち1件という状態であった。そしてとくにはくさいと、キャベツなどのように、安値のために生産者取得がマイナスになったものや（はくさい12件のうち1件、キャベツ14件のうち3件）、また手取額が極めて少なかったもの（にんじん8件のうち2件、だいこん11件のうち4件）もあったために、出荷費用率が高くなったのである。従って生産者取得の比率はこれまでの調査のうちで最低を示すこととなった。しかし昭和45年の秋野菜は、近郊産地のものが多かったために、出荷費用の比重は小さく、当然に生産者取得率は著しく高かった。こうしたことは昭和47年の夏野菜についてもいえる。このように過去3か年のデータをみると、大観して、大体近郊的産地と遠郊的産地との割合が、ほぼ現実の産地構成に近いと判断せられるから、3か年の平均値が、大体において客観的に妥当な数値を示すものと判断せられる。これによると野菜の荷造り費と運賃が約22～23%程度、その他の経費2%程度、卸売人手数料8.3%、生産者取得66%程度となる。（第Ⅶ報参照）

次に果物についてみると、これまでの秋期の果物の調査結果と、ほぼ同じ傾向を示す結果を得た。その理由は、これまでと同様に市場遠隔産地の多いりんごを除くと、みかん・かきは近郊と遠郊との組み合わせが現実の入荷状況に近いデータが得られたことによるものであると考えられる。従ってこのことから果物の平均値も大体客観的妥当性を持ち得るものと判断せられる。すなわち果物は平均的にみて、荷造り費と市場までの運搬費用は卸売価格の20%程度、その他の経費2～3%、卸売人手数料7%、生産者取得70%程度といえる。

2) 次に小売価格を中心とする調査結果にみると、野菜にあっては、上述の事情から、今回は出荷費用の小売価格に対する比率がこれまでの最高を示した。（23.7%）その結果、生産者取得の比率は31.6%とこれまでの最低となった。

次に果物についてみると、出荷費用の比率は前年よりも上昇しているが、これまでの調査の中ではやや低い方に属する。このために生産者取得の比率はこれまでの最高を示すこととなった。

次に小売商の取得率をみると、野菜はほぼ前年なみとなっているが、果物は前年よりも低いのみならず、これまでの最低となっている。その理由は、同年の卸売価格の上昇（われわれの調査では24.6%上昇）と、入荷量の増加により、小売商はマージンの比率は低くても、経営的には十分成立し得たものと判断せられる。参考までにわれわれの調査期間を含む47年10～11月における名古屋中央卸売市場への、みかん・りんご・かきの入荷量の対前年比をみると、3者平均で115.7、価格113.2となっている。このことから上述の推論は正しいといえよう。（愛知流通情報センター発行、第5次生鮮食料品の流通に示す統計により算出）

3) 次に小売店の性格別にみた小売価格の高低を比較すると、野菜は今回は私設市場が最も安く、次いで八百屋、スーパーマーケット、スーパーストア、公設市場、デパートの順となった。果物は、八百屋、私設市場、スーパーマーケット、果物専門店、公設市場、スーパーストア、デパートの順となった。

またこれまでの調査を総合してみると、私設市場を100とすると、八百屋95.2、スーパーマーケット104.2、公設市場109.5、スーパーストア110.5、専門店119.6、デパート156.2となる。これは品質的要因を捨象し、単に正札の示す販売価格のみを示すものであるから、この点を修正して考えなければならない。しかし一般に、デパートや専門店が高価なことは、われわれの日常経験と一致するところであり、またスーパーマーケットよりもスーパーストアが高価なことも理解せられる。今回は公設市場が高かったが、これは店数も少なく、品目の関係もあって、例外的なものと考えてよい。そこで今回の分を除外して計算すると、上述の公設市場の数字は101.8となり、私設市場とほぼ肩をならべることになる。そしてこの修正値をもとにした小売店の性格による価格の安い順位はわれわれの日常経験と一致することになる。

4) 次に地区別に小売価格を比較する場合、今回は上述の理由から、八百屋の価格のみをとることにした。その結果は前回のそれとは異なる順位となった。詳しくは表7参照。これによると高級住宅地を含む地域ほど概ね高価であること、また、スーパーマーケット、公設市場や私設市場の多い地区の八百屋はそれらとの競争関係を反映して、概して相対的に安い価格で販売していることがみられる。

以上をもって、昭和45～47年の3か年にわたる青果物の流通調査の報告を終る。そしてその総括的な、省察は第Ⅶ報にゆずり、一応ペンをおくこととする。

最後に、本調査を含めて、これまでの調査に関してお世話になった名古屋中央卸売市場業務課調査係の方々、名古屋青果株式会社の関係者、アンケートに回答をよせられた出荷者の方々およびゼミの学生の諸姉に対して、深く感謝の意を表わしておく。

参 考 文 献

- 1) 拙稿；1971：青果物の流通費用に関する調査研究 I 名古屋女子大学紀要 17, 125～133
- 2) 拙稿；1972：同Ⅱ，同紀要 18, 253～261
- 3) 拙稿；1972：同Ⅲ，同紀要 18, 263～274
- 4) 拙稿；1973：同Ⅳ，同紀要 19, 107～115
- 5) 拙稿；1973：同Ⅴ，同紀要 19, 117～123
- 6) 拙稿；1938：青果小売価格に関する調査研究 A5, 87頁
- 7) 東海農政局統計情報部；1973：第5次生鮮食料品の流通 B5, 234頁